



Q: 「てんかん」について教えてください

A: 「てんかん」は、けいれんや意識消失などのてんかん発作を繰り返し起こす慢性の脳疾患です。その原因や症状は人によりさまざまで、乳幼児から高齢者まで、どの年齢層でも発病する可能性があり、患者数も1000人に5〜8人とされ、誰もがかかる可能性のある病気の一つです。

大脳の神経細胞(ニューロン)は、互いに調和を保ちながら電氣的に活動しています。突然一時的にニューロンが異常な電気活動(電気発射)を起こすことで発症します。症状は基本的に一過性で、て

んかん発作終了後は元通りの状態に回復することが特徴ですが、多くの患者さんは発作が始まると意識障害がおこることが多く、自分では発作時の状況や状態が分かりません。脳炎、脳外傷、脳梗塞や脳出血などの後遺症といった明らか原因がある場合を「症候性てんかん」、原因不明の場合を「特発性てんかん」と呼びます。



治療は抗てんかん薬を適切に服用することで、大部分の患者さんは発作が抑制され通常の社会生活を支障なく送ることができます。

(岡田俊一・おかだ内科クリニック院長、甲府市北口2-9-12、ニシコー北口駅前ビル2F)

☎0555・2888・1801